



情報化進行中

太田 義勝

平成2年に筆者が大型計算機センター（今の情報連携基盤センター）から三重大学に赴任した時には、ワークステーションや研究室 LAN はあったものの、電子メールは使えず（すぐに三重大学を JUNET につなぎました）、また、情報処理センター（今の総合情報処理センター）では PC 端末教室はあるもののまだ汎用機が大きな顔をしていました。学内光ハイウェイという LAN（もどき）がありましたが、これは研究室にある PC を専用アダプタ経由で情報処理センターの汎用機に端末としてつなぐために導入されたものでした。そこで、これを利用して SLIP（Serial Line IP）でいくつかの学科のネットワークに興味のある研究室の LAN を IP 接続して（非公式）学内 LAN を作ったりしてましたが…

それから15年、IT化が急速に進み、PCやインターネットが世の中に広まっていくのに合わせて、今日、大学の教職員、学生のほとんどが、PCならびにインターネットを教育、研究、業務に毎日当たり前のように使っています。ネットワークが長時間停止したらパニックは必至でしょう。はじめは研究、教育での利用が主でしたが、知らないうちに以前は紙で来ていた事務からの連絡通知等がほとんど電子メールで行われるようになり、出張申請システム、物品請求等システムにより手続きが研究室からオンラインでできるようになりました。今日、大学における教育、研究、業務の情報化のための情報基盤ならびに各種の情報システムの整備が必要不可欠なものとなっているのは、いまさら言うまでもありません。

この10数年の三重大学におけるネットワークの基盤である学内 LAN、インターネット接続の進化を振り返って見てみると、（公式）学内 LAN が平成6年に FDDI（100Mbps）により構築され、その後、LAN 技術の進歩に合わせて、平成8年に ATM（622Mbps）、平成13年に GbE（1Gbps）と整備されてきました。インターネット接続においても、平成5年の 9.6kbps で始まった SINET 接続のための名古屋大学ノードまでの回線速度も、回線速度アップを繰り返して、平成17年3月には 15Mbps からいっきょに 100Mbps に増強するとともに、ISP とのマルチホーム化を行っています。なんと回線速度は、ここ10年で4桁のアップです。それらに加え、IT の進歩に合わせて重要性を増しているセキュリティ対策のため、最初はフラットだった学内 LAN も、研究用 LAN、学生用 LAN、事務用 LAN と必要とされるセキュリティに応じて分化したり、学内 LAN 入り口のファイアウォールを設置したり、学外から、ならびに、学外への電子メールのウイルスチェックサーバによるチェックを行うなど、ネットワーク基盤の整備は行われてきました。そして、これからも行われていきます。

ネットワーク基盤の整備と同時進行的に、その基盤の上に各種の情報システムの構築が続けら

れています。ここでは平成 17 年度に総合情報処理センター（以下、総情センター）が関係して行われた情報システム整備の主なものをご紹介します。まず、4 月に共通教育の学部 1 年生「英語 I TOEIC」のための TOEIC 英語自習システムが稼動し授業に用いられるようになりました。前期末には、学務情報システム（履修登録システム）による学生のオンライン履修申告の 1 年生と情報系の学生による試行が行われ、後期からは全学部全学年で完全実施される予定です。なお、学務情報システム（成績登録システム）による教員のオンライン成績入力は平成 16 年度より実施しています。e-learning 関係では、三重大学 Moodle システムの試行が開始され、本年度中には正式システムが稼動を開始する予定です。そして、年が明けてからは、全学の電子シラバス化に向けてウェブシラバスシステムによる教員のシラバス入力が行われています。全学的な TOEIC 英語自習、オンライン履修申告のため、学生の総情センターの PC の利用者が増加しますが、平成 16 年 12 月に総情センターの計算機システムの更新時に、それまでのセンター内の教育端末室（3 教室、合計 120 台）に加えて 2 つのサテライト教育端末室（100 台と 30 台）の整備を行って倍増していたので、何とか対応できそうです。

全学的な情報システムには、そのほかに全学生、全教職員に WEB メールサービスを提供する学生用メールシステム、教職員用メールシステムなどがあり、総情センターのホームページ（トップページ）がこれらの情報システムのポータルとして使われています。また、これらの情報システムを利用するためのアカウントに加え、総情センターの教育用システムを利用するためのアカウント、学生用 LAN を利用するためのアカウントなどが存在します。そのため、これらを一つの統一アカウントで利用できるようにする作業がここ数年行われていて、現在では、一部を除いてほとんどの情報システムが統一アカウントで利用可能となっています。

本稿では三重大学における、これまでの情報インフラの整備と、現在進行中の情報システム（の一部）を簡単に紹介しましたが、この原稿を書いている時点において、さらに PC ならびにインターネットを利用した授業を支援するために、学内のほとんどの教室を無線 LAN 化する作業が進行中です。

（おた よしかつ：三重大学総合情報処理センター長
三重大学工学部情報工学科教授）